

第 10 回 東牟婁地域等における 大規模氾濫減災協議会

開催日時：令和6年2月19日（月） 13：30～15：00

会議方式：WEB 会議方式

【出席者】

新宮市〈防災対策課〉竹田課長（田岡市長代理）

〈都市建設課〉工藤課長（田岡市長代理）

すさみ町〈総務課〉岩田防災対策室長（岩田町長代理）

那智勝浦町〈総務課〉増田防災対策室長（堀町長代理）

太地町〈総務課〉由谷課長（三軒町長代理）

古座川町〈総務課〉濱野課長（西前町長代理）

串本町〈総務課〉杉本課長（田嶋町長代理）

近畿中国森林管理局和歌山森林管理署 森内管理署長

森林整備センター和歌山水源林整備事務所 砂場事務所長

近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所 藤村事務所長

和歌山地方气象台 山本气象台長

和歌山県〈総務部〉防災企画課 柏木班長（中村危機管理局長代理）

和歌山県〈農林水産部〉段子農林水産政策局長、小川森林・林業局長

和歌山県〈県土整備部〉太田河川・下水道局長

前山建築住宅課長（小井都市住宅局長代理）

和歌山県〈教育委員会〉藤戸総務課長（中嶋教育総務局長代理）

鍋田学校教育局長

和歌山県〈西牟婁振興局〉中松振興局長

〈東牟婁振興局〉鳥羽振興局長

(オブザーバー)

近畿地方整備局〈河川部〉糸本地域河川調整官

関西電力株式会社 再生可能エネルギー事業本部〈田辺水力センター〉村上所長代理

協議会開催にあたって

東牟婁振興局長より「東牟婁地域等の減災に係る取組成果の報告や、古座川、太田川、那智川、佐野川流域治水プロジェクトのフォローアップ、周参見川流域治水プロジェクトの新規策定に向けた協議を行うので、忌憚のない意見と、あらゆる関係者が積極的に治水対策に取り組んでいただくことをお願いしたい」と挨拶し、意見交換を行った。

議 事 等

- (1) 大規模氾濫減災協議会の規約の改正について事務局より説明を行い、協議会構成員に和歌山県教育委員会教育総務局長及び学校教育局長、幹事会構成員に和歌山県教育委員会教育総務局総務課長及び学校教育局教育支援課長が新たに参画することについて承認された。
- (2) 令和5年度の出水対応について、事務局より説明を行い、内容の確認を行った。
- (3) R4～R8の東牟婁地域等の減災に関わる取組方針（第2期）について、事務局よりこれまでの取組内容に関する実施状況の説明を行った。
- (4) 古座川、太田川、那智川、佐野川流域治水プロジェクトについて事務局より取組内容に関する説明を行った。
- (5) R4～R8の東牟婁地域等の減災に関わる取組方針（第2期）及び古座川、太田川、那智川、佐野川流域治水プロジェクトについて各構成機関からこれまでの取組事例の発表を行った。
- (7) 周参見川流域治水プロジェクト（案）について事務局より説明を行い、承認された。

(8) 事務局より、「流域治水優良事例集」、「令和6年度水管理・国土保全局関係予算決定概要」、「地方債の活用事例」、「緊急浚渫推進事業債活用事例」、「水害リスク情報の充実」および「学校施設の治水対策の推進に向けた連携の強化」について情報提供を行った。

(9) 和歌山地方気象台より「顕著な大雨に関する気象情報」について情報提供があった。

(10) 近畿地方整備局より、「特定都市河川の指定等の状況」について情報提供があった。

○紀伊山系砂防事務所長より、「今回、自治体や学校の関係者等、皆様方が主体的に取り組んでいる治水対策を報告いただき、それぞれの取組がだいぶ進んでいると見受けられたし、そのような取組をますますしていただくことが重要であると考えます。紀伊山系事務所では、技術交流や自治体と共同の防災啓発の取組についての活動報告をさせていただいている。引き続き、関係機関の皆様と一緒に取組を進めていきたい」と意見があった。

○最後に和歌山県県土整備部 河川・下水道局長より、「各構成機関の皆様と連携し、情報を共有しながら取組を着実に進めていきたいため、参加機関の皆様にも本協議会を有効に活用していただきたい」と関係者に協力を依頼し、閉会となった。